

## 戦前期植民地・勢力圏への日本人商業者の進出と商工会議所関連文献

木村健二 / 下関市立大学 名誉教授

私は、今から50年ほど前に小樽商科大学で卒業論文を作成する際、学内の経済研究所を紹介され、そこに収蔵されていた旧植民地関係資料にふれることができた。阿部安成氏は、「書評：小樽高商史研究会編『小樽高商の人々』2002年』『彦根論叢』（第350号、2004年9月）において、いくつかの高商に共通するアジアとの関わりとして、1)ウラジオストック、清津などへの修学旅行の実施、2)「満洲」・中国本土・台湾・朝鮮への赴任、3)日中戦争以降の東亜科などの設置、4)文献・資料の蒐集をあげられている。

小樽高商では、開学以来4年間の生徒の出身道府県は、北海道は25%で、道外は東京・東北・北陸を中心に全国に及んでいる中で、浦潮斯徳(ウラジオストック)や樺太への修学旅行を行い、私が後に目にするようになる朝鮮総督府などからの函書の寄贈もなされている。また、商業会社、銀行、鉱山会社、汽船会社、工業会社、個人商店などが生徒の上位就職先であり、そのうちには台湾銀行、朝鮮銀行、朝鮮総督府鉄道局、満鉄、松昌洋行など「外地系」企業もあり、あるいは鈴木商店、三井物産などに就職した場合も、その「外地」支店に赴任するなど、少なからぬ植民地・勢力圏とのつながりが存在していた(『小樽高等商業学校一覽』1917年)。

実際の人の移動に関してみると、1930年の在留日本人有業者中、商業従事者は、朝鮮では25.7%の58,629人、台湾も20.0%の27,166人、関東州も27.8%で13,183人といずれも公務自由業に次ぐ人数であった。その内訳は、移入雑貨商や移出特産物商、あるいは小売商であり、土着派や会社派などと呼ばれていた。とくに初期朝鮮の場合は、1876年の釜山開港以降、多くの商業者が開港場に進出して商業会議所を設立し、情報収集・発信に努めた。中でも、釜山日本人商法会議所書記の松田行蔵は朝鮮南部を踏破し、『朝鮮国慶尚忠清江原道旅行記事 農商調査表付』（1888年）、『慶尚道全羅道旅行記事並農商況調査録』（1891年）という2冊を、第一国立銀行仁川支店長の江南哲夫等も朝鮮西北部を調査し、『朝鮮平安黄海両道商況視察報告』（1889年）を刊行している。また、商業会議所は月報、年報や商工人名録、周年史を発行し、「内地」の商工会議所や

大学などの研究機関に送付している(東京商工会議所に所蔵されていたものについては、『全国商工会議所関係資料第Ⅱ期：東アジア日本人商工会議所関係資料』雄松堂書店、2011年を参照のこと)。

そうしたもののうち、滋賀大学経済経営研究所には、釜山商業(工)会議所の人名録が、1923年、29年(会員名簿)、36年、42年(商工人名録)と所蔵されており(42年版はほかにはソウル大学校にのみ所蔵)、この間の会員の変遷や営業税額の推移を追うことができ、経営状況をうかがう資料が少ない中で貴重な存在となっている。さらには、釜山商業(工)会議所は月報も、1925年4月の第1号(『釜山商業会議所月報』)から第180号まで(1930年10月からは『釜山商工会議所月報』として)、さらに1940年6月の181/182合併号から44年4月の228号(最終号)までは『釜山商工会議所月報』として発行しており、やはり滋賀大学には46号から228号までが所蔵され(47, 49, 57号は欠)、他は大阪府立図書館や釜山広域市立市民図書館にのみ所蔵されている(坂本悠一・木村健二「滋賀大学経済経営研究所所蔵の植民地期朝鮮関係資料について」『彦根論叢』第344・345号、2003年11月を参照。一部号数を修正)。そこには、1936年以降、「売込・買入」別の取引照会情報が掲載され、どこからどのような商品が、釜山を経由して取引されるかを示す貴重な資料となっている。これらの分析結果は、坂本悠一・木村健二共著『近代植民地都市 釜山』(桜井書店、2007年)に掲載している。

以上のように、多くの商業従事者が日本の植民地・勢力圏へ進出し、そこに商工会議所等の経済団体を設立し、その機関誌などが本国へ運ばれ、今日に到るまで保存され、歴史分析に役立てられているのである。滋賀大学経済経営研究所には、ここにしか所蔵されていない貴重な資料、とりわけ釜山などの地域経済関連のものが豊富にあり、近江商人をはじめとする滋賀県関係者のこれらの地域への進出を彷彿とさせる。

では翻って、1960年代以降、多くの日本企業が世界各地に進出し、日本人会・商工会・商工会議所などの団体を組織し、その機関誌を発行しているのであるが(詳しくは『戦後アジアにおける日本人団体—引揚げから企業進出まで—』ゆまに書房、2008年を参照)、それらを一括して所蔵している機関はまだないように思われる。ぜひとも積極的に蒐集して欲しいものである。